

発刊の言葉

全国LPガススタンド名鑑は、初版の1968年版から40年を超えて今回で22版目を迎えました。その間、LPガスは家庭用や工業用燃料、またタクシーを中心とした自動車用燃料等に幅広く利用され、国民生活になくてはならないエネルギーとなっています。

LPガスは環境に優しいガス体エネルギーとして国のエネルギー基本計画に「LPガスは分散型エネルギー供給源であり、災害対応にも優れ、化石燃料の中で比較的CO₂排出が少ないクリーンなガス体エネルギーとして低炭素社会の実現にも資する利用を促進する」と記されており、一次エネルギーの中で重要な役割を担っています。

LPG車については「次世代自動車戦略 2010」において先進環境対応車の候補に挙げられて、LPガス業界として普及促進活動を続けておりますが、タクシー車両のガソリン車への移行や減車政策、運送業界等ユーザーのLPG車両減車、メーカー車種の縮小等々によって登録台数は漸減傾向にあります。

一方世界に目を転じますと、LPG車はここ10年間で650万台から約1,600万台と2.5倍の普及拡大が進んでおります。LPG車は世界では一般個人の利用が急速に増えてきましたが、我国のLPG車は車両・燃料に係わる諸規制等の関係から現在もタクシー中心であり、抜本的な普及促進策を新たに構築する必要があります。

昨年3月11日に東北・北関東の太平洋沿岸部に発生した東日本大震災は地震・津波・原発事故を引き起こし、我国に未曾有の被害をもたらしましたが、被災地での物資や人員の移送は、ガソリン車やディーゼル車が燃料補給に困難であったのに対し、LPG車がその代替機能を果たしました。

現在、エネルギー基本計画の見直しがされておりますが、そうした国の政策転換期に、LPG車が次世代自動車として位置付けられるよう、業界としての提案活動を強化していく所存です。また、カーメーカーに対しても省燃費・低排出ガス車のライン生産とLPGハイブリッド車の生産等の充実したラインアップを要望してまいります。

また、当協会は3団体統合から3年経ち、平成24年4月から新たに一般社団法人全国LPガス協会としてスタートを切りました。新組織体制によりLPガススタンドの保安活動、LPG車普及促進活動に取り組んでいく所存です。

今後のLPG車普及拡大に向けて本名鑑がその一助となれば幸いです。

平成24年4月

一般社団法人全国LPガス協会